

教育センター ニュース

教育支援課
マスコットキャラクター
しえん君



四日市市教育委員会 教育支援課 〒510-0085 四日市市諏訪町2-2(四日市市総合会館6階)
TEL (354)-8283 (代) FAX (359)-0280

ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>

■特集 教室で行うSST・職場で学び合い・ICT機器導入

不登校児童生徒の増加にブレーキを！

教育支援課 小倉 秀樹

平成22年度の市内小・中学校の不登校児童生徒数は、小学校79人(平成21年度80人)、中学校286人(同312人)と若干減少してはいるものの、増加傾向になかなか歯止めがかからない。三重県においても、昨年度の件数が4年ぶりに増加に転じている。文部科学省は不登校の定義を「何らかの心理的状態、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるため年間30日以上欠席したもののうち、病気や経済的理由による者を除いたもの」としている。よって、定義にある日数未満の欠席は正式な不登校とカウントされないの、予備軍は相当数いるものと踏まえている。

昨年年度は、教育支援課の課題研究において、「不登校の始まり方は、突然欠席が増えて不登校となる場合と毎月少ずつの欠席が積み重なって30日を超え不登校となる場合の二つのタイプに分けられること、不登校の内訳も、欠席日数が30〜89日の児童生徒が半数近くを占め、学年が上がるといれ欠席日数90日以上の児童生徒が増加していくことが報告されている。また、学校の対応として、家庭訪問や電話での指導助言とスクールカウンセラーの対応が効果のあった取組として挙げられているが、不登校を予防する取組にまでは至っていないのが現状である。

児童生徒の観察を行ったり、周囲の児童生徒や教師、家族から情報を収集したりして、対応や支援について話し合う支援委員会を開くなど長期化を防ぐ具体的な行動につなげていくことの重要性を指摘している。

一方、こころの病気の疑いのある不登校児童生徒に対して早期支援を行うYESnet(教育委員会・保健所・医療機関の連携事業)につなげる取組も徐々に進んできている。

今、学校、家庭、地域、教育委員会、関係機関がより一層連携し、不登校児童生徒が一人でも減るよう不断の努力が求められている。



やってみよう！ソーシャルスキルトレーニング ～ 学級という集団でソーシャルスキルを学ぶ ～



学級の集団は、ソーシャルスキル（体験を通して学んだ人づき合いの方法。社会性）を学ぶのに最適な場です。なぜなら、教師を始め、さまざまな子どもがいるので、多くの優れたモデルがあり互いに学びあうことができるということ、くり返し体験できること、周りからの承認が得られることなどがあるからです。

学級のソーシャルスキルが向上すると、子どもどうしが結びつきやすくなり、学級が楽しい場になっていきます。

ソーシャルスキルを学ばせるために大切なこと（山本五十六の名言より）

やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば人は動かじ。
話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。
やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。

まず、教室の子どもの様子をソーシャルスキルの視点で見てください。

「意識すれば9割の子ができそうな行動で、普段は6割ぐらいの子ができていない行動」を基本に考えて、学級でどんなソーシャルスキルを学ばせたらよいかを決めるとよいでしょう。

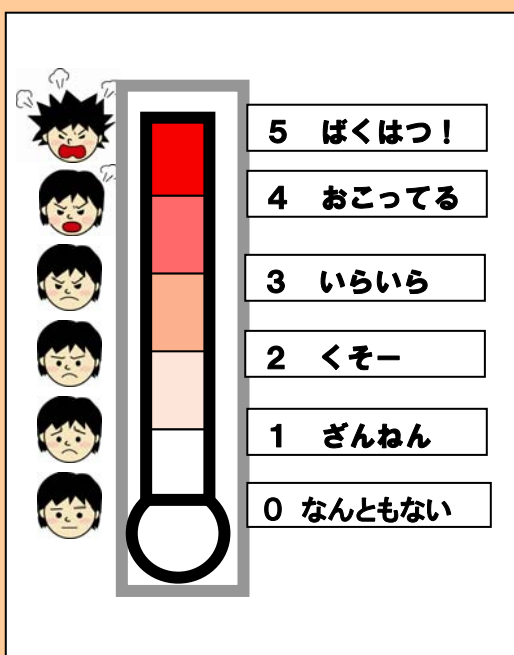
例えばこんな時・・・

めあてとするソーシャルスキル

「怒りのコントロール」

個別対応の一例

怒りの温度計



学級での子どもの実態？



すぐカッとなって怒ってしまう子がいて喧嘩が絶えない。日常的に指導したい・・・

トラブルがあった時、**落ちついた後に個別指導**を行う方法があります。

- (1) 感情がおさまった瞬間に「よく気持ちをおさめたね」「よかった」と認める言葉をかける
- (2) 怒りの温度計を使って、今どのレベルになったかを確認する。
- (3) 怒りの感情をおさめた方法を聞く。あるいは「〇〇しておさめたんだね」と気づかせる。
・ 深呼吸、言い聞かせ、あきらめ 等々
- (4) 怒りの感情をおさめる方法を今後も使っていき、早い段階で怒りのレベルを下げられるようにすることを目標にする。
- (5) 自分で怒りの温度計を使ってコントロールできたら、それをすぐに報告して欲しいことを伝える。(日常的に続ける)

例えばこんな時・・・

めあてとするソーシャルスキル

「相手の顔を見る」「表情を読む」
「相手の顔を見て、気持ちを理解する」

授業の一例

学級での子どもの実態？



場の雰囲気や相手の気持ちを読むのが苦手な子が多く、小さいトラブルがよく起こる・・・

単元名「あの子はどう思っているのかな」



流れ	子どもの反応等	留意点
○ 本日の学習についての説明		・ 友だちと楽しく過ごすために必要な学習であることを伝える。
○ 顔当てクイズ ・ 表情カードから ・ 先生の顔 ・ 友だちの顔	<ul style="list-style-type: none"> ・  → 「嬉しい気持ち」 ・  → 「腹がたつ」 ・  → 「どうしよう」 ・  → 「悲しい気持ち」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まずは表情カードから。 ・ 表情から、気持ちがわかることを押さえる。 ・ 友だち同士で顔あてゲーム
○ それぞれどんな声かけをすればいいかを考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 怒っているとき → 「ごめんね」「どうしたの？」 ・ 泣いている時 → 「大丈夫？」「どうしたの？」 ・ 困っている時 → 「手伝うことない？」 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 「困っている顔」は難しい子どももいるので、眉や口元に注目させるなどヒントを与える。
○ ロールプレイ（※1） それぞれの場面を作って、声のかけ方を練習する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小グループで、相手の顔を見て表情を読み、表情にあった声のかけ方を練習する。 ・ よいモデルを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際によくある状況を場面として設定してもよい。
○ フィードバック（※2）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の評価、子ども同士の評価、自己評価等、方法を工夫する。 	<p>※お互いのよいところを認め合えるようにしていく。</p>

※1) 実際の場面を想定し、さまざまな役割を演じさせて、問題の解決法を会得させる学習法。

※2) 褒める、称賛するなど効果的に作用する働きかけ。

学んだソーシャルスキルを日常的に、継続的に使えるようにしていくことが大切です。そのためにも、できたことをほめて、のぞましい行動を強化していきましょう！

本の紹介



先生方が実践されていることを交流して、さらに支援の幅を広げていきましょう。

「通常学級での特別支援教育のスタンダード」

小貫 悟

東京都日野市公立小中学校

全教師 教育委員会

日野市の先生の実践を出し合ってきた一冊です



職場で学び合い



夏季教職員研修へのご参加ありがとうございました！

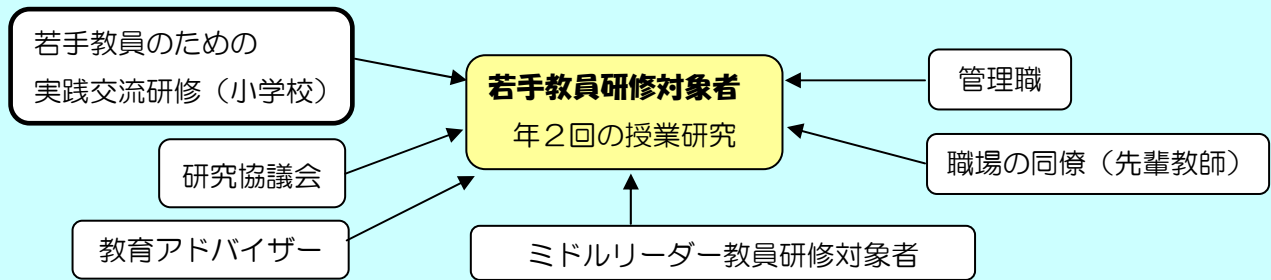
この夏、研修に参加した教職員は、昨年に比べ約1000人増えて、のべ約6000人！多くの方の満足した笑顔に元気もらった教育支援課スタッフです。たくさんのご参加、本当にありがとうございました。

2学期は「教師力向上サポートブック」のSTEP3【行動のステップ】とSTEP4【経験のステップ】の時期です。研修での学びを自分の実践に活用していきましょう。

◆ 職場で学び合おう！

～若手教員の授業を見よう・若手教員に授業を見せよう～

「若手教員研修」は、校内研修として「授業研究」を位置づけています。2学期には若手教員が授業を公開する機会もあることでしょう。ぜひ全教員で若手教員の授業を「見る」！そして自分の授業を若手教員に「見せる」！校内で数多くの「学び合い」を生み出しましょう。



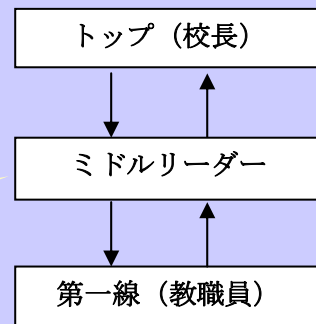
～ミドルリーダーの学校マネジメントをすすめよう・支える職場も学び合おう～

ミドルリーダーオリエンテーション「ミドルリーダーの役割」で講師の浅野良一先生（兵庫教育大学教授）が、「ミドルリーダーは、学校改善の起爆剤」とおっしゃっていました。

2学期、若手教員の育成以外にも、ぜひ何かを始めてみましょう。職場を巻き込みながら、自分のできるところからチャレンジです。

また、まわりの教職員がミドルリーダーを支えることで職場全体が学び合い高めていくことができます。

ミドル・アッパダウン・マネジメント



トップダウンでもボトムアップでもなく、ミドルリーダーが行動することで、学校が変わっていきます。

～校外研修から得た学びを深めよう～

- ・ 校外研修から学んだ内容はOJTで積極的に職場に広めましょう。
- ・ 研修で得た知識・技能を、日頃の実践で使ってみましょう。



公開授業研究のお知らせ

自分から出かけよう

この秋も、たくさんの公開授業研究会が開催されます。積極的に出かけ、がんばっている先生の授業からパワーをもらい、自分の実践に生かしましょう。



★ 学力向上・授業づくり研修—小・中授業づくり—

重点課題研究推進校公開授業研究

「自他ともに大切にすることをはぐくむ」～学びでつながる、心でつながる～

笹川中学校

11月14日(月)

13:30～16:30

講師：大阪教育大学 教授 木原俊行

★ 学力向上・授業づくり研修—小・中授業づくり—

東海地方数学教育会研究大会公開授業研究

「算数・数学的活動を楽しみ、活用力を伸ばす数学教育の実践」

浜田小学校…小学校編

中部中学校…中学校編

11月11日(金)

9:00～16:30

主催：東海地方数学教育会

★ 文部科学省 道徳教育総合支援事業 研究校

公開授業研究「つながる心、つながる個」

～思いや考えを伝え合う授業の創造～

泊山小学校

11月26日(土)

8:40～17:00

講師：早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授 小林宏己

★ 学力向上・授業づくり研修—小・中授業づくり—

公開授業研究「運動の中心となるおもしろさにせまる『学び』の追究」

～体育好きの子どもを育てる授業づくり～

河原田小学校

11月25日(金)

13:30～17:00

講師：三重大学 教授 岡野昇

コンピュータ教室がリニューアル！

平成 24 年度の新学習指導要領（中学校）のスタートに向けて、コンピュータ教室の機器がリニューアルしました。また、多くの教科で利用できるデジタル教材も追加導入しました。これにより、小・中学校ともにデジタル教材・デジタル教科書が整備されました。

新学習指導要領の総則では、「各教科で生徒が ICT を適切かつ主体的、積極的に活用できるよう学習活動を充実する」「教師の効果的な ICT 活用を図り、ICT 活用の研究に努める」ことが求められています。授業等で積極的にご活用下さい。

新しくなったところ

★スカイメニューが Ver.13 に！

●ボタンだけで全コンピュータをコントロール！

教師用机に置いてあるボタンだけで、
全コンピュータを制御できるようになりました。

- ①電源 ON, OFF
- ②キーボード操作の制御
- ③インターネットへのアクセス制御
- ④印刷の制御 など



★ジャストジャンプ Ver.4 に！

●統合ソフトが新しくなりました！

- ・一太郎 2010 フルバージョン版
- ・ホームページビルダ ver.14
- ・カードラベル作成
- ・お絵かきソフト
- ・音楽作成ソフト
- ・各教科で使えるテンプレート・ワークシート集
※学級通信等のテンプレート等。
※日本・海外の名画等。



★マイクロソフトオフィスも新しくなりました！

●ワード、エクセル、パワーポイント等が office 2010 になりました。

★デジタル教材も一挙に導入！

- ①国語 : 「NHK 動画データベース古典・漢文」, 「わくわく古典 (光村図書)」
- ②社会 : 「動画データベース」 (歴史分野)
: 「デジタル掛図」 (地理分野) (歴史分野) (公民分野)
- ③数学 : 「シミュレーション教材」 1年~3年
- ④理科 : 「動画データベース」 (生物分野) (地学分野) (化学分野)
- ⑤技術 : 「ジャストジャンプ4 情報モラル, 技術科パック (製図, 計測・制御, プログラム演習)」
- ⑥家庭 : 「乳幼児の心と体の発達」
- ⑦英語 : 「NEW HORIZON デジタル教科書」 1年~3年
- ⑧問題データベース: 社会, 数学, 理科, 英語 (単元確認プリント, 全国の過去入試問題集など)